

会長退任のご挨拶

前会長 齋藤 郁郎

本年6月の理事会・総会をもちまして、会長の職を退任させていただきました。この2年間（発足準備会を含めると4年間）に渡り、日本赤十字社臨床工学技士会の立ち上げと運営のためにお力添え頂きました理事各位、一般会員各位、及び日本赤十字社本社の皆様、また、研修会開催の際にご援助を頂きました業界関連各社に、お蔭をもちまして無事務めを果たすことが出来ました事に、先ず、御礼申し上げます。

世の変革と共に、臨床工学技士を取り巻く環境も大きく変わりつつあることを、会員の皆様も強く感じていることと思います。全国の赤十字医療施設でも、業務拡大と共に臨床工学技士の定員増が認められ、同時に技士会会員数は発足初年度より漸増しております。

会員の皆様のご要望に、満足にお応えすることもできないうちに「東日本大震災」が起こり、未曾有の災害となりました。皆様ご承知の通り、日本赤十字社はいま、全国の職員とボランティアが一丸となって、被災者の救護と生活再建に向けた取り組みを行っております。

日本赤十字社臨床工学技士会会員も、その多くの方々が被災地に赴き、援助活動や業務支援を行い、また、生活物資支援輸送にご協力を頂いております。

日本赤十字社臨床工学技士会は、熊谷新会長の下、新たな活動が始まりました。医療の現場で求められる技術や知識を備えた、力量のある日本赤十字社臨床工学技士会は、今後、会員の皆様に活用していただく、多くの活動が計画されていることと思います。

日本赤十字社臨床工学技士会の新たな活動に、これまで以上のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたしまして、退任のご挨拶とさせていただきます。

長い間、本当にありがとうございました。